

令和2（2020）年大阪市長年頭所感

大阪市長 松井一郎

あけましておめでとうございます。

一般社団法人大阪卸商連合会の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

第21代大阪市長に就任してから、9カ月が経過しました。市民の皆様から寄せられた期待に応えられるよう、「変革と挑戦」を基本姿勢に前市長の市政を継承しながら豊かな大阪の実現に向け取り組んでいます。本年も大阪の成長や市民サービスの拡充、暮らしの満足度の向上をめざし、着実に市政を前に進めます。

大阪の成長に向けて、世界最高水準の成長型IR(統合型リゾート)の誘致を実現することにより、2025年開催の「大阪・関西万博」との相乗効果を発揮させ、大阪の成長の起爆剤としていきます。

さらに、関西経済をけん引できるよう、IoTやAIなどの先端技術の実装を官民連携で進め、大阪府と一体でスマートシティ戦略を推進し、世界におけるスマートシティの先進的地位をめざします。

防災力の強化に向けては、南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模災害に備え、災害救助物資の備蓄の充実や全市立中学校体育館への空調機の設置、防潮堤の整備などに取り組みます。

子育て・教育環境の充実については、「重大な児童虐待ゼロ」の実現に向け、関係機関と連携した支援を行うとともに、新たな子ども相談センターの整備など虐待防止体制の強化を図ります。また、子育て家庭が安心して子育てをし、働くことができるよう、保育所の新設や保育人材の確保を進め、待機児童ゼロの達成をめざします。

将来を担う子ども達が未来に希望をもって成長できるよう子どもの貧困対策を進めるとともに、子どもの学力向上や安心安全の確保のため、学校や地域の実情に応じたよりきめ細やかな教育施策を実施するため教育委員会事務局の4ブロック化を行うとともに、課題のある学校への重点支援などに取り組みます。

住民福祉のさらなる向上のためには、特別養護老人ホームの計画的な整備や認知症施策の推進など高齢者支援をはじめ、真に支援が必要な方にしっかりとサービスが届くよう取り組みます。

市政の運営においては、市民ニーズにきめ細かく応えるよう、ニア・イズ・ベターを徹底し、区長の責任と権限のもと、地域の実情に即した特色ある施策を展開していきます。

さらに、副首都・大阪にふさわしい新たな大都市制度である、特別区制度の取り組みにあたっては、住民投票により、最終的に新しい大阪の形を市民の皆様判断していただきたいと考えています。

これからも大阪を元気にし、皆様の暮らしを守り、充実させていくために全力で取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人大阪卸商連合会の皆様にとりまして、この新しい年がよりよき年になるよう祈念しております。